

オオクワガタの す 棲める森づくり

エキスポ'90みのお記念の森 内 

明治の森 箕面国定公園内
箕面国有林

- ・箕面体験学習の森
- ・エキスポ'90みのお記念の森



「オオクワガタの棲める森づくり」

「オオクワガタの棲める森づくり」では、最初にクヌギやコナラのドングリを小学生・幼稚園児とともに拾って、育てた地元の苗を、山に植え、草を刈り払う（下刈り）などして育ててゆきます。木が大きくなると枝も大きく張りだします。少し本数を減らして（間伐といいます）残した木が大きくなるようにします。十数年後に、直径10cmほどになったクヌギなどを、胸の高さで伐ります。切り口からは、また枝が生えてきます。その枝も太くなってきたらまた、伐って利用します。育てる、伐るを繰り返すうち、クヌギの根元は、大きな株となって、オオクワガタに代表されるようなたくさんの昆虫が棲めるようになります。このような体験をしながら、地域の里山づくりを学んでいく取り組みが「オオクワガタの棲める森づくり」です。



ドングリ拾い (H20)



ドングリの苗を育てる (H20～)



植樹 (H22～23)



下刈り (H24～)



台場クヌギ (川西市)

目標！ 台場クヌギ



早くぼくらの家ができたらいいな♪



萌芽



育成

10～12年かけて繰り返す



伐採 (H35頃から)

約10年後には



1 伐採

展望台付近などは約50年にもなるヒノキ林でうっそうとした森でした。

平成21年冬からヒノキの伐採を始め、木材を運び出しました。



伐採前



近景



伐採後



近景

2 地拵え・ネット設置

木材として利用するため伐った木は運び出しましたが、枝などが山の中に残りました。苗木を植えるためにはその枝をかき集めて植える場所を確保します、それを林業では「地拵え」と呼んでいます。

植えた苗木はニホンジカに食べられてしまうため、ニホンジカが植えた場所に入らないように周囲に網を張っています。



地拵え後の林内



ニホンジカの食害防止のためのネットの設置

NPO 日本森林ボランティア協会により設置しました。

3 ドングリ拾い・育成

箕面の気候や土壌にあった里山を作るためには、この箕面に育っている親木から苗木を作ることが大切です。

各々の地域の樹木は、同じ種類でもその地にあった固有の遺伝子をもっています。

ですから、箕面での森づくりには箕面のドングリを使う必要があるのです。

平成20年から現在まで、箕面市内の小学校や幼稚園の子どもたちといっしょにドングリ拾いとポット苗づくりに取り組んできました。また、地域住民の方にも苗木の里親になっていただき育ててきました。



箕面市などのイベントで苗木の里親を募集しました。



ドングリ拾い



ポット苗づくり



苗木の育成など

4 植樹



自分達で育てた苗の植樹を記念して標柱を立てています。

みんなで育てた苗を植えました。クヌギ・コナラ・エドヒガン・ヤマザクラ・カエデ・ケヤキ・ムクロジなど箕面の山に昔から生えていた木ばかりです。

これまで苗を育ててくれた小学校・幼稚園・市民の方に来てもらい「植樹祭」を開催し、苗木を植えてもらいました。

5 下刈り



参加者を募集し、小学生により下刈りも行っています。

下刈りは、植えた苗を育てるために必要な作業です。下刈りをしないと、自然に生えてくる草や背の高くならない木が増えて、まだ大きくなっていない苗を日光からさえぎり、枯らしてしまいます。そんな草などを刈り払って日光を浴びた木は、すくすくと育っていくことでしょう。

6 台場クヌギ

北摂地域で生産されていた菊炭の原木として育ててきたクヌギのことを台場クヌギと呼んでいます。

台場クヌギには、多くの昆虫が集まってきます。その理由は、ポクトウガやカミキリムシなどの幼虫がクヌギの樹皮の内側を食べて、水を吸い上げている管をかみ切ることがあるからです。かみ切った穴から、吸い上げた水があふれて、発酵します。この水をなめるためにカブトムシやクワガタ、ハチなどの昆虫が集まってくるのです。

オオクワガタは、幼虫がクヌギの朽ち木を食べて育ちます。



オオクワガタの棲める森づくり参加・協力の皆さん（新たに参加・協力できる団体等をおまちしています。）

—箕面市立の小学校・幼稚園—

萱野北小学校・豊川北小学校・箕面小学校・西南小学校・とよかわみなみ幼稚園・とどろみ幼稚園・せいなん幼稚園・なか幼稚園・かやの幼稚園・ひがし幼稚園

—地域の方々—

NPO 日本森林ボランティア協会・明治の森箕面自然休養林管理運営協議会の参加団体・箕面市などの開催されたイベントで苗木の里親となっていた方々

オオクワガタの棲める森づくりMAP

(エキスポ'90みのお記念の森内)

エキスポ'90みのお記念の森は国際花と緑の博覧会の開催を記念して、明治の森箕面国定公園内に大阪府が整備した森林公園です。

園内には、野外学習の場として活用できる「芝生広場」、晴れた日には遠く六甲山まで見渡せる「展望塔」などの施設があり、自然のもつ様々な魅力が満喫できます。

エドヒガンの大木
4月初・中旬頃花を咲かせます



花の谷
モリアオガエルの産卵が
6月頃に見られます



モリアオガエル



芝生広場



展望台

北摂地域や大阪市内を遠望できます



凡例

- オオクワガタの棲める森づくり
- ニホンジカの食害防止用の扉
- ニホンジカの食害防止用のネット
- 歩道
- パネル・看板
- エドヒガンの大木
- トイレ
- 駐車場

駐車場 P

エントランス

都市型里山モデル林

市道箕面五月山線

エントランスゲート

自然研究路

至勝尾寺、箕面市内

至鉢伏山

歩道

冬の間

秋の間

夏の間

春の間

木道

花の谷

展望台

階段

箕面体験学習の森について

「オオクワガタの棲める森づくり」は、平成19年から開始した「箕面体験学習の森」整備事業の一環として取り組んでいます。

ここでは、ヒノキ等の人工林から落葉広葉樹（クヌギを主体とした地域に自生する広葉樹）の森を作る里山再生の取り組みを行っており、下刈りなど保育の作業を、小学生等に体験を通じて学習してもらうなど、森林環境教育の場として活用をしていくこととしています。

また市民の方の協力も得ながら地域と一体となってこの取り組みを進めていきます。新たに参加、協力できる団体等をおまちしています。

（連絡先は下記のとこ）



昆虫ベッド

森ができてカブトムシなど昆虫がいないとさみしいよね。そこで、カブトムシなどが生まれてくるように昆虫の育つベッドを作って、落ち葉をいっぱい入れて棲みやすくしました。これからもっと増やしたいですね。



菊炭

クヌギの炭をのこぎりで切ると切り口（断面）が菊の花に見えることから菊炭と呼ばれています。（池田炭と呼ばれることもあります。）菊炭は茶道でお湯をわかすために使われるなど珍重され、値段も普通の炭よりも高価で取引されます。現在も北摂地域の大阪府能勢町下田尻や兵庫県川西市黒川などで炭焼きが行われています。



交通アクセス

●マイカーをご利用の方●

新御堂筋国道423号を北上し、白島交差点を左折。箕面浄水場を右折し、府道豊中亀岡線を北上（約6km）勝尾寺手前の三差路を左折、府道茨木能勢線（約1km）トンネル手前三差路を左折、市道箕面五月山線を北上（約2km）

●電車をご利用の方●

(1) 阪急箕面線「箕面駅」下車、箕面滝を經由して、徒歩約150分
(2) 北大阪急行「千里中央駅」下車、阪急バス「千里中央駅」乗車、「勝尾寺」下車、徒歩約60分

利用の案内

●駐車場の利用時間●

10時から16時（9時30分から17時）
※（ ）書きは4月から11月の土日祝の利用時間

●休園日●

火曜日（祝日の場合は翌日）及び
年末年始（12月29日から1月4日）
※駐車場は利用できませんが、入園は自由。

編集・発行：林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8番75号 近畿中国森林管理局内

TEL: 06-6881-2013

FAX: 06-6881-2055

ホームページ http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/